

2025 年度 一般社団法人 全日本学生バドミントン連盟
第 2 回理事会議事録

日時：2025 年 10 月 13 日（日）全日本学生バドミントン選手権大会終了後
（運営本部会議終了後）

場所：ヤマト市民体育館会議室；対面会議

出席者：常務理事・代表理事・会長北見正伸、理事平野泰宏、理事井上翼、理事大東忠司、
理事渡辺英次、理事古財和輝、理事有吉晃平

監事：喜多努

記録：北見正伸

1. 審議事項

（1）同一法人の短期大学と 4 年制大学の合同チーム編成について

【提案内容】

1) 条件；以下の条件を満たす場合は、合同チーム編成を認めることとする。

- ① 同一学校法人に所属する大学と短期大学のバドミントン部であること。
- ② 日常的に合同で練習が可能な環境であること。
- ③ 部名は大学または短期大学のいずれかに統一すること。

2) 理由；（一社）全日本学生バドミントン連盟への加盟者数の増加を図るため。

【結論】

運営本部会議の議論と現在実施されている事例を踏まえ、②の条件を削除し、①と③を細則に明記する事が承認された。

（2）運営本部会議構成員変更について

現行の理事・会計・学生役員・学生委員に「各地区委員長」を追加する。

また、4 大会に関連する議題について審議する際は主管学連会長を加える。

【提案理由】

運営本部会議の情報を、より正確に各地区会長・委員長との共有を図るため。

【結論】

細則：第 5 章第 31 条に第 3 項として以下の条文を追記する事が承認された。

「運営本部会議の内容が定款第 4 条に規定される 4 大会に関わる事項である場合、主管学連会長および主管学連委員長は、運営本部会議に出席することができる」

（3）申し込み書類（団体戦）のコーチ人数枠（4 名）と「競技・審判上の注意（2 名まで）」との整合性について

- ➡団体戦ベンチ入りのできるコーチ数は、申込書記載の 4 名中 2 名までとする。
- 展開した場合でも 2 名までとする。

【結論】

申込書類の注釈箇所に改めて明記する事が初認された。

（4）大会パンフレット記載の部長名・顧問名について

【結論】

運営本部会議の議論を踏まえ、競技部で更に確認事項があるため、同部にて継続して検討を行うことで承認された。

(5) インカレ大学対抗戦における敗者戦について

大学対抗戦の1回戦敗退大学同士の対戦の実施。詳細は別紙。

【提案理由】

中堅選手（育成選手）のレベルアップや全国大会試合機会の増加を図るため。

【結論】

- ・具体的な実施方法については、競技部及び主管学連で検討を行う。
 - ・本年度は実施する方向で準備を進めるが、大会パンフレットへの掲載は行わない。
- 以上の内容で承認された。

(6) その他

特に無。

2. 報告・連絡事項

(1) 大学生強化案について

(公財)日本バドミントン協会「新体制における強化戦略方針」の日本代表（トップグループ・グループA・グループB）の中に「U-22の枠組を新設」して合宿・海外遠征等の大学生を主たる要員とする新たな強化策構築を日バに要望した。

- ・早ければ翌年度からの導入が見込まれると会長から報告された。

(2) 会員システムのチェック時期について

➡東西インカレ申込時点で、各地区学連がチェックを実施する

※春の選手権大会時点で各地区学連が第一段階のチェックが可能であれば、東西インカレ時の負担が軽減できるが、この時点でのチェックは可能か？

- ・会員システムの確認時期に関して、東西インカレ申込時期と組み合わせ会議の時期や各地区学連大会時期とのタイムスケジュールを踏まえて、競技部で継続検討する。

(3) 新口座開設について

みずほ銀行に開設。新名義：一般社団法人全日本学生バドミントン連盟

- ・ゆうちょ銀行の口座については、準備が整い次第、各地区学連へ連絡する。

(4) 強化合宿時におけるスポンサー企業によるリクルートの実施について

➡育成選手強化合宿の際に協賛企業によるリクルート説明会を設定する方向で競技部と広報部で検討する。

- ・インカレ大学対抗戦における敗者戦の実施内容をみて、敗者戦との関りから育成選手強化合宿時の協賛企業によるリクルート説明会の設定について検討する。

(5) その他

- ・全日本学生大学対抗戦時の情報交換会は11/6（木）18：30～実施予定。

- ・インカレの主管学連が2つあり、ヨネックスとのスポンサー契約が重複しているため、契約を一本化できるよう競技部と広報部で検討を進める。
→ 12月頃までに案を作成する予定。
- ・組み合わせ基準の文言について、内容を確認・整備する。
- ・学連役員に対して、2級審判員資格の取得を推進する。
→ 審判不足の課題解決につながるとともに、学生個人にとってもメリットがある。
- ・大会要項、競技上の注意、式典の流れ、依頼文書などの関連資料については、大会結果と併せて、全日本学生役員のみがアクセスできるドライブに保存・管理していく。

以上

議事録署名人 代表理事・会長
北見正伸

理事・総務部長
井上 翼